

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成22年6月17日(2010.6.17)

【公表番号】特表2009-535162(P2009-535162A)

【公表日】平成21年10月1日(2009.10.1)

【年通号数】公開・登録公報2009-039

【出願番号】特願2009-509656(P2009-509656)

【国際特許分類】

A 6 1 F 9/007 (2006.01)

A 6 1 M 1/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 F 9/00 5 6 0

A 6 1 M 1/00 5 1 0

【手続補正書】

【提出日】平成22年4月27日(2010.4.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

眼圧を下げるための眼用インプラントであって、  
眼の前房内へ延びる近位部分と、  
シュレム管内に延びる第 1 の遠位部分と、  
眼の第 2 の解剖学的空間内に延びる第 2 の遠位部分と、を備える眼用インプラント。

【請求項 2】

前記第 2 の解剖学的空間は脈絡膜上腔である、請求項 1 に記載の眼用インプラント。

【請求項 3】

前記第 2 の解剖学的空間は結膜下腔である、請求項 1 に記載の眼用インプラント。

【請求項 4】

前記近位部分と前記第 2 の遠位部分との間に延びる第 1 のルーメンと、  
前記近位部分と前記第 2 の遠位部分との間に延びる第 2 のルーメンと、  
をさらに備える、請求項 1 に記載の眼用インプラント。

【請求項 5】

前記近位部分と前記第 1 の遠位部分との間に延びる第 1 のルーメンと、  
前記第 1 の遠位部分と前記第 2 の遠位部分との間に延びる第 2 のルーメンと、  
をさらに備えた、請求項 1 に記載の眼用インプラント。

【請求項 6】

前記第 1 のルーメンは、複数のルーメンを含む、請求項 4 に記載の眼用インプラント。

【請求項 7】

前記第 2 のルーメンは、複数のルーメンを含む、請求項 5 に記載の眼用インプラント。

【請求項 8】

当該インプラントは、可撓性材料からなる、請求項 1 に記載の眼用インプラント。

【請求項 9】

前記第 2 の遠位部分は、前記脈絡膜上腔内にフィットする大きさ及び形状である、請求項 2 に記載の眼用インプラント。

【請求項 10】

前記脈絡膜上腔に延びる前記第２の遠位部分は、その定位においてプレート状である、請求項９に記載の眼用インプラント。

【請求項１１】

隣接する眼組織に係合するように配置された少なくとも一つのアンカーをさらに備える、請求項１に記載の眼用インプラント。